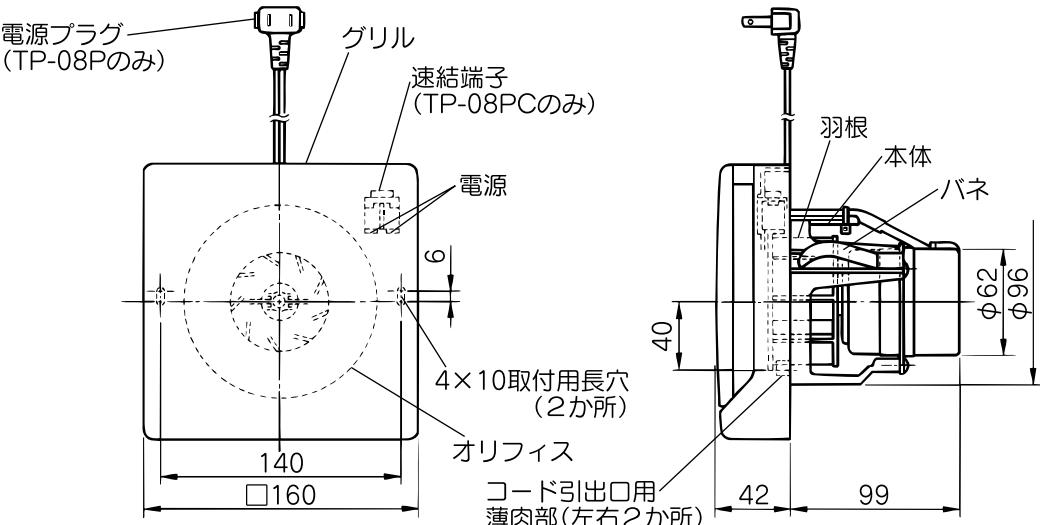
取扱説明書

日立ダクト用換気扇
TP-08P、TP-08PC形

HITACHI
Inspire the Next

居間・トイレ・洗面所用

このたびは日立ダクト用換気扇をお買上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

寸法図および各部のなまえ

付属品	木ねじ………2本 ※本体取り付け用です。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
●	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わない
●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く，また、ぬれた手で抜き差ししない
●感電やけがをすることがあります。

交流100V以外では使用しない
●火災・感電の原因となります。

水につけたり、水をかけたりしない
●ショート・感電の恐れがあります。

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける
●漏電した場合、発火することがあります。

電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く
●火災の原因になります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
●感電やショートして発火することがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

お手入れの際は、必ず手袋を着用する
●板金の端などでけがをする恐れがあります。

運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない
●けがの恐れがあります。

浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない(浴室用換気扇をお使いください)
●感電および故障の原因になります。

羽根や部品の取り付けは確実に行う
●落下によりけがをする恐れがあります。

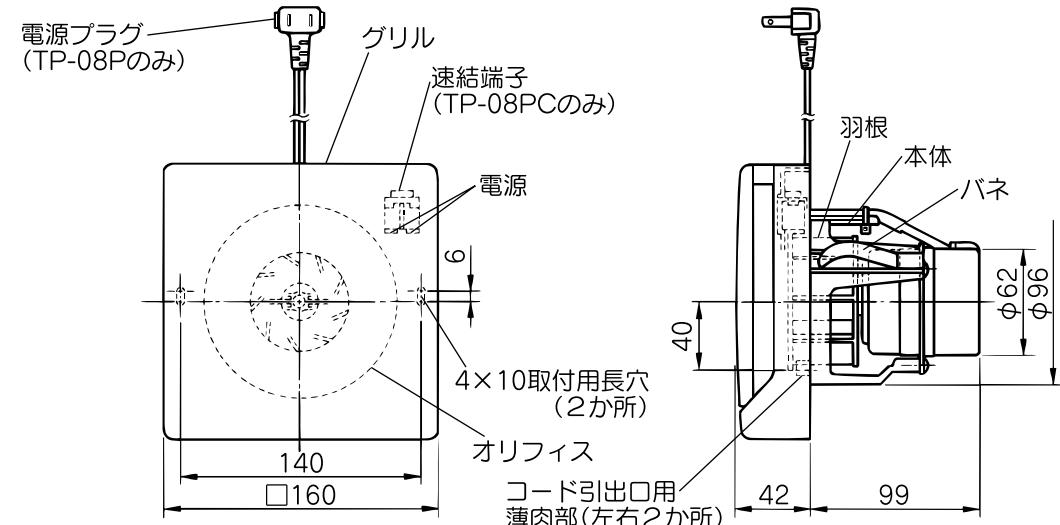
本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う
●落下によりけがをすることがあります。

直接炎があたる恐れのある場所に取り付けない
●火災の恐れがあります。

本体に異常な振動が発生した場合使用しない
●本体・部品の落下によりけがをする恐れがあります。

配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う
●誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

システム部材

システム部材は、取付方法により必要になります。詳しくはカタログをご覧になり、日立の家電品取扱い店にてお求めください。

取り付けかた

ご注意

●地域によっては、ジャバラを使用できない場合がありますので十分ご注意ください。
(詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください)

●天井板は強度があり、共鳴しにくい材料(石こうボード、木毛セメント板など)を使用してください。
異常音や共鳴音が発生することがあります。

●40℃を超える場所には取り付けないでください。
プラスチック部品の変形や故障の原因になります。

●電源スイッチは、両切りスイッチをご使用ください。片切りスイッチを使用する場合は電圧側に接続してください。

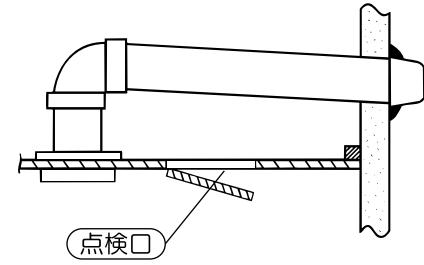
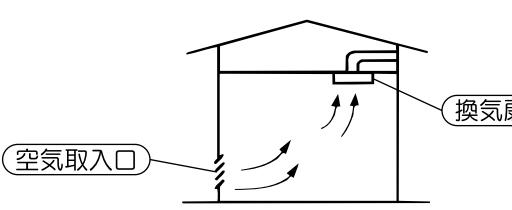
●粉じんなどの多いところ(養鶏所など)には取り付けないでください。
故障の原因になります。

●有機溶剤を使用するところには取り付けないでください。
合成樹脂部品が変色・変形することがあります。

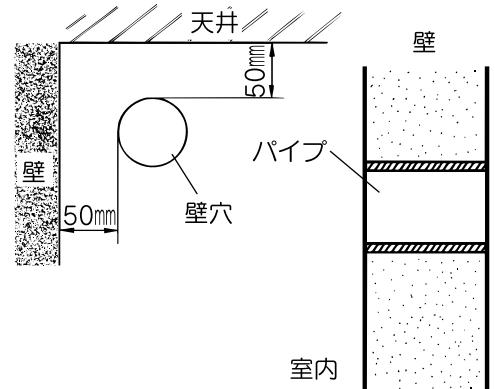
●接続ダクトは室内側に結露水がたれないように屋外側に向い下りこう配(1°～2°程度)になるようにしてください。

●密閉された部屋で使用する場合は効率よく排気するため、100cm²程度の空気取入口を換気扇と反対側の位置に設けてください。

換気扇
空気取入口

●点検口を必ず設けてください。

●次のような配管工事はしないでください。
風量が減少したり、騒音が高くなる原因になります。

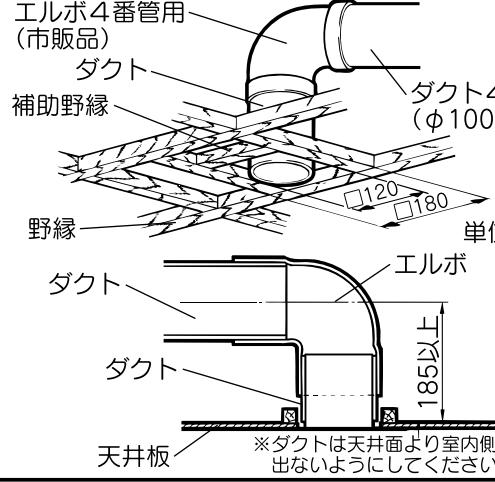
ダクトの取り付け

壁面に取り付けの場合

壁穴へのダクトの固定

① 壁厚に応じてダクトの長さを決めます。
●ダクトには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および鋼板管があります。
必要に応じたダクトの長さを決めてください。

② 壁穴にダクトを差し込み確実に固定します。
●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
●ダクトは室内壁面より出ないように差し込みます。

天井面に取り付けの場合

エルボ4番管用(市販品)
ダクト
補助野縁
ダクト4番(φ100)
□120
□180
野縁
単位(㎜)
ダクト
エルボ
ダクト
185以上
天井板
※ダクトは天井面より室内側に出ないようにしてください。

野縁工事とダクト配管

① 左図のように野縁工事をし、ダクト配管をします。

② ダクトの中心から天井板まで185㎜以上離して天井板をはります。

電　気　配　線

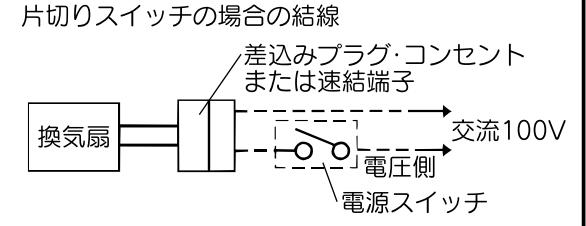
⚠警告

交流100V以外では使用しない
●火災・感電の原因になります。

⚠注意

配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う
●誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

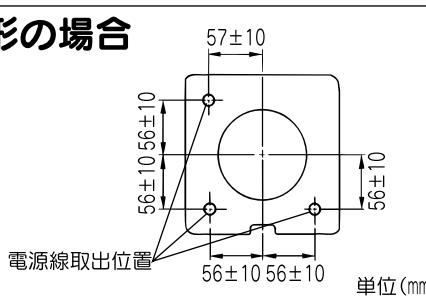
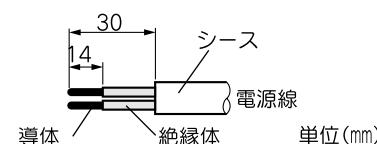
●電源スイッチは両切りスイッチをご使用ください。片切りスイッチを使用する場合は電圧側に接続してください。

片切りスイッチの場合の結線

取り付けかた（続き）

電　気　配　線（続き）

ご注意
- 電気配線は必ず専門の電気工事店へご依頼ください。
- 電源スイッチおよびコンセントは製品に含んでおりませんので、工事の際にご準備ください。

TP-08P形の場合　●内線規定に基づくコンセントを屋内の換気扇近傍に設けてください。

TP-08PC形の場合

（1）電源線はVVFφ1.6 2芯をご使用ください。
（2）電源線を左図の位置から室内に引き込みます。
（3）電源線の先端を下図を参照し約14mm皮むきしてください。

本体の取付け（壁面取り付け・天井面取り付けともに同様の取り付けかたです）

① パネルを本体からはずします。

② TP-08PC形は電源線を速結端子に差し込みます。
- 電源線カバーをはずし、電源線を速結端子に差し込む。
- 電源線をはさまないよう電源線カバーを取付ける。

ご注意
- 電源線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って速結端子が確実に固定されていることを確認してください。
- ネジ穴が破損する原因となりますので、ネジを締めすぎないでください。

TP-08PC形の電源接続方法

③ 本体の上下を確認してダクトに差し込み付属の木ネジで本体を固定します。

④ パネルを本体に取り付けます。
- パネルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。

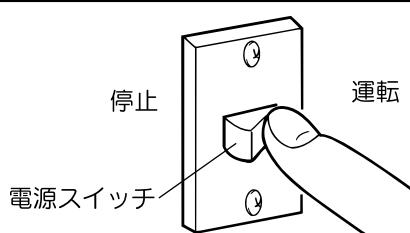
⑤ TP-08P形は電源プラグを専用のコンセント（単相100V）に差し込みます。電源コードを左右から出す場合は薄肉部を切り欠きます。

試　運　転

① 試運転
- 製品の取り付け強度が十分であることを確認してください。
- 電源スイッチを入れて運転したとき異常音、異常振動がないことを確認してください。

運転のしかた

■壁取り付けの電源スイッチで、換気扇の「運転」、「停止」を行います。

電源スイッチを入れると羽根が回り、室内の空気を換気します。

お手入れのしかた

約３か月に１度を目安に各部の掃除をしてください。

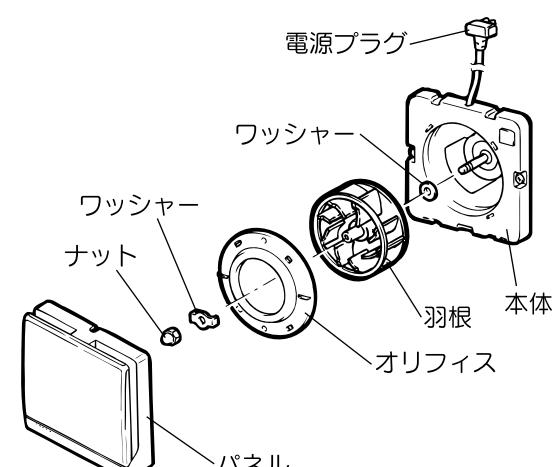
⚠警告

お手入れの際は必ず電源プラグを抜くまた、ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがをすることがあります。

⚠注意

お手入れの際は必ず手袋を着用のこと
- 薄板の切口などでけがをする恐れがあります。

ご注意
- シンナー・灯油・みがき粉・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。プラスチック部品が変形・変色します。
- 60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチックの部品が変形します。
- 本体の突起や角でけがをしないように静かにふいてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部品の取り外しかた

① パネルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。

② オリフィス上の突起に親指を引っ掛け、右に回してはずします。

③ ナットを右に回してはずし、羽根を手前に引き出します。

ご注意
- 羽根を取りはずすとき羽根の前後に固定用のワッシャーがありますのでなくさないようにご注意ください。

お手入れのしかた（続き）

パネル・羽根・オリフィス

汚れが目立つようになったら本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いしてください。

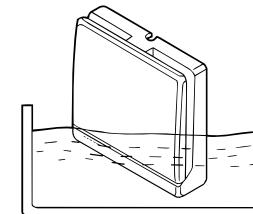
本　体

⚠警告

水につけたり、水をかけたりしない
- ショート・感電の恐れがあります。

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で汚れをふき取ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう十分ふき取ってください。

⚠注意

羽根や部品の取り付けは確実に行う
- 落下によりけがをする恐れがあります。

お手入れ後部品を取り付けます。
部品を取り付けたあと次の項目について確認をしてください。
- 羽根を手で回転させたとき軽く回転すること。
- パネルが確実に取り付けてあること。
- 異常な振動や騒音がないこと。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　次の点をもう一度お調べください。

症　状	点検するところ
スイッチを入れても回転しない	プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後６年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

本ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　名	換気扇
形　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？
- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。（排気が弱い）
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

→ ご使用中止　このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
（受付時間）365日／9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
（受付時間）9：00～17：30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

仕様

電源100V　50／60Hz

形　式	消費電力(W)	風量(m^3/h)	質量(kg)
TP-08P	2.5／2.6	34／36	0.79
TP-08PC	2.5／2.6	34／36	0.77

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

購入店名　　　　電話（　　　）　－
ご購入年月日　平成　　年　　月　　日

日立ホーム＆ライフソリューション株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム
〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000 ㈹

株式会社 日立空調システム
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話(03)3255-7271

株式会社 日立GEライティング
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255

0502873HD0402